

第1回システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会 (Phase2)

議事録

■日時：平成26年6月17日 15時～17時

■場所：建築会館 307会議室

■出席者：高田（委員長：横浜国大），中村（幹事：篠塚研究所），新谷（福井大），【古屋（東京都大）】，吉川（東京都市大），植竹（東京電力），大嶋（千代田化工建設），大谷（IHI），境（安藤ハザマ），静間（篠塚研究所），副島（大林組），【土居（東京電力）】，服部（東急建設），馬場（日本上下水道設計）

（敬称略）出席12名，【欠席2名】

■配布資料：

- ・資料1-1 システム性能を考慮した産業施設諸機能の耐震性評価研究委員会 (Phase2) –地震リスク（復旧曲線）の計算プログラムの整備と利活用–（中村）
- ・資料1-2 RiAS全体フロー（中村）
- ・資料1-3 半導体製造工程を直並列システムでモデル化（静間）

■主な議事：

- (1)高田委員長から本研究委員会の趣旨説明があった。
- (2)各委員から自己紹介および委員会への抱負，期待が述べられた。
- (3)資料1-1に基づき，中村幹事より研究委員会の進め方についての説明があった。
 - ・大嶋委員の所属の誤記を修正する（千代田加工建設→千代田化工建設）。
- (4)資料1-2に基づき，中村幹事から RiAS の全体フローについて説明があった。
- (5)資料1-3に基づき，静間委員から RiAS を用いた半導体製造工程の復旧曲線の検討事例について説明があった。
 - ・名古屋，四日市，大垣に位置することを想定した半導体製造工場を例に，RiAS のインプットデータ，システムモデルの作成方法等について説明があり，フラジリティやストックを考慮するか否かによる，復旧曲線やボトルネックインデックスの結果などが紹介された。
 - ・地震ハザード算定の基となるデータベースの設定方法，システムの影響度係数，損傷相関などについて質疑応答があった。
- (6)その他・今後の予定など
 - ・RiAS の利活用に関し，各委員で適用できそうな事例を検討する。地震とは無関係の分野やシステムでも構わない。
 - ・RiAS のプログラムは委員に配布するので，希望者は静間委員へ連絡を。
 - ・議事録は持ち回りとする。（第1回は境委員）
 - ・東京都市大学の学生は，オブザーバー参加として認める。

◎次回の予定：8月29日（金）15:00～ 建築会館 会議室

話題提供：副島委員より製鉄所のリスク評価事例について，中村幹事より損傷相関に関する説明を予定する。

以上
（議事録：境）